



展示企画を入れ替えました

「長期休みに読みたい本」

展示期間：2024年10月9日（水）まで

長編小説や知的好奇心をくすぐる本など
長期休みにじっくり味わってほしい作品をご紹介します。



朝井リョウ『正欲』(2021)

「多様性」社会で翻弄されながらも、必死に生きていく人々を描く。
そこに見出されるのは希望か絶望か、価値観が変わること必至の一作。

ピックアップ

マッド・ハイク『ミッドナイト・ライブラリー』(2022)

その図書館には「選ばなかった人生」が待っていた。
43カ国で刊行のベストセラー、あなたの背中をやさしく押す物語。



ビブリオバトルを行いました (6/19)

今年度初のビブリオバトルを行いました。
様々なジャンルの作品が集まり、普段は手にすることがないような本との出会いを楽しめました。
ディスカッションの際には、作品の解釈について語りあったりと、メンバー間で知識や感性を共有し合うことができました。



参加本一覧

- 朝井リョウ『正欲』
- 綾瀬まる『くちなし』
- 逢坂冬馬『同志少女よ敵を撃て』
- 笹井宏之『ひとさらい』
- 野村美月『文学少女と繋がれた愚者』
- 有川浩『図書館戦争』
- イタロ・カルヴィーノ『冬の夜ひとりの旅人が』
- 岸見一郎・古賀史健『嫌われる勇気』
- 辻村深月『かがみの孤城』
- pha『夜のこと』

今回の参加本の一部は、展示企画にも選書されています。ぜひ借りてみてください。

Libeが文化祭に出展します！

昨年の紅葉祭では、予想を上回る多くの方々に部誌を手に取っていただき、ありがとうございました。

今年もLibeは紅葉祭に出展します。

今年の部誌も、昨年好評だったリプログラムに加え、おとぎ話をオマージュしたテーマ小説など、個性豊かな作品が満載です。その他、詩やメンバーおすすめ本など、多彩なコンテンツを鋭意作成中です。

お知らせや最新情報は、図書館だよりやSNSで随時発信していきますので、ぜひチェックしてくださいね。

皆様のご来場を心よりお待ちしております。



▲昨年頒布した部誌

図書館所蔵のオススメ映画作品



「ホテル・ルワンダ」

(2004 ・ 戦争/スリラー ・ 2時間 1分)

1994年、ルワンダで勃発したルワンダ虐殺によりフツ族過激派が同族の穏健派やツチ族の虐殺を始めた。

1200名以上の難民を自分が働いていたホテルに匿ったホテルマン、ポール・ルセサバギナの実話を基にした物語。



サークル
メンバーの声



- ・ルワンダ内紛の悲惨な歴史を描いた作品。これからの国際社会がどうあるべきかを考えさせられた。
- ・自分だったら腰がすくんで動けなくなってしまいそうな状況下で、利益度外視で多くの命を救ったポールを尊敬する。

図書館サークルLibe は

本好き、おしゃべり好きの集うサークルです。
ご興味のある方は永国寺図書館カウンター、
または各種SNSのダイレクトメッセージまで
お気軽にお問い合わせください。



libe2020kachi



@LibeUOK